



滋賀県道路整備アクションプログラムの見直しに向けた地域ワーキングを開催



このたび滋賀県では、平成30年3月に公表した『滋賀県道路整備アクションプログラム2018』の見直しを実施することになりました。

長浜土木事務所では、管内における地域課題を抽出し、その課題を踏まえた今後の道路整備について意見を聴くことを目的に、有識者、公募委員、道路利用者等からなる「地域ワーキング」を開催しました。

道路整備 アクション プログラム とは

「道路整備アクションプログラム」とは、「どこに、どんな道路が、いつまでに必要か」を具体的に示した道路の整備計画のことで、県内8地域別に策定しています。

このプログラムは、社会情勢の変化や政策課題に係る変更が生じた場合に適宜見直し、最長でも5年で見直すこととしており、平成15年度の当初策定から5年サイクルでこれまで3回の見直しを実施しました。

今回は道路整備マスタープランの3次改定を受け、4回目の見直しを実施します。『アクションプログラム2023』では、令和5年度～令和14年度までの10年間における道路整備計画を明らかにします。

■平成30～令和3年度の間に完了した事業の一例

丁野虎姫長浜線（北新町工区）

整備前の状況



開通後の状況



◆◆第1回地域ワーキング開催概要◆◆

【日時】 令和4年8月1日（月）
9:30～11:30

【場所】 湖北合同庁舎一階第一会議室

▶ 地域ワーキングの目的

長浜土木事務所管内の地域課題を抽出し、その課題を踏まえた今後の道路整備について、色々な立場の方から意見を聴くことを目的とする。

▶ 地域ワーキングの検討内容

- ①地域の道路・交通の現状、問題点、課題の整理
- ②客観的評価マニュアルにおける地域の重点項目の選定
- ③地域ワーキングにおける「地域の声」のとりまとめ
- ④アクションプログラム2023における掲載箇所(案)

見直しの手順

- ①地域ワーキングの意見、県民アンケート、市町意見等を踏まえて「地域の声」「地域重点項目」を設定する。
- ②最新データに基づき、客観的評価マニュアル※により事業を評価する。
- ③選択と集中を図り、早期に事業効果を発現できる事業を抽出する。

アクションプログラム策定スケジュール

第1回
ワーキング

5年間を振り返り、地域の道路、交通の問題点や課題等についてご意見をいただきました。

今回

第2回
ワーキング

第1回ワーキングで頂いた意見に基づき、「地域の声(案)」「地域の重点項目(案)」を作成、提示し、意見をいただきます。

第3回
ワーキング

「地域の声」「地域の重点項目」「定量的指標」等の報告、個別路線の代表候補箇所を提示し、意見をいただきます。

第4回
ワーキング

アクションプログラム2023(案)を提示し内容について意見をいただきます。

アクションプログラム2023策定
(令和5年3月予定)

※客観的評価マニュアルについて

「客観的評価マニュアル」とは、アクションプログラムにおける事業の優先度を誰が見ても納得できる評価基準、誰がやっても同じ評価結果とするための客観的な評価方法を記載したものです。

これにより、現道拡幅やバイパス整備、交通結節点整備などの「拠点間ネットワーク整備事業」、歩道や自転車道整備などの「拠点内道路空間整備事業」について、A・B・Cの3段階でランク分けを行い、事業の優先度を判断するものです。

ワーキングでいただいた主なご意見

▶アクションプログラム2018等の道路整備による地域の変化

- 道路が改良されるとスピードを出す車が増える。安全なスピード、制限速度も考えてもらいたい。
- 集落の中に大型車が通行しているところが多い。また、新たな観光施設ができて、カーナビを頼って県外から人が来るので、集落の中の道に他府県ナンバーも多い。
- 交差点の改良も良いが、その前後がきちんと整備できていないところが多々ある。

▶長浜地域における道路の問題・課題

- 県道の歩道の拡幅整備がほとんどできていない。1m未満の箇所も多々ある。
- まだまだ狭い県道があり、大型車のすれ違いが難しいところもある。狭い道路だと除雪する場所もない。また、豪雪、豪雨対策として災害時の活動を支援する道路整備が必要である。
- 道が狭いと、交通弱者や自転車が通りにくい。遠慮しながら通っていることも多々あると思うので改良してもらいたい。また、信号がない交差点の改良、路肩が狭いため、グレーチングの設置等してほしい。

▶長浜地域の道路整備について

- 大きな災害時に災害地点に向かうにはアクセス道路が必要である。アクセス道路がいくつか整備されていると多くの消防隊が現場に入れるし、車が入らないと大きな仕事ができない。
- 景観形成を優先してアンダーパスが整備されたが、今後はオーバブリッジの整備も必要だと思う。
- 県道の歩道の整備を優先的に実施してほしい。優先順位があるのは分かるが、見直しするなら、全線見直しをしてほしい。また、市道と県道の取付部は行政間の連携が必要である。
- 歩道の整備、県内平均を上回る整備をしてもらっているが、幅員の狭いところで歩道がないところもあるので、力を入れて整備を進めてほしい。
- 災害が起きると“想定外の〇〇”とよく聞かれるが、それは理由にならない。雪や雨は当然ありうる話なので、それを踏まえた道路整備をしてもらいたい。

▶その他

- 地域の活性化や産業振興の視点も重視してもらいたい。“ものづくり県”を維持して発展していくために道路は大事である。ものづくりを支える道路整備、観光を支える道路整備を進めてもらいたい。
- 中長期的の視点を大事にもらいたい。道路整備には時間がかかるので、息の長い整備を継続して行うことが大事だと思う。



地域ワーキング委員(敬称略、五十音順)

今井 克美 [公益社団法人長浜観光協会 専務理事]	長谷川綱雄 [米原市障害者福祉協会 会長]
鹿取 輝之 [公募委員]	水上 敏彦 [長浜商工会議所交通運輸部会副部会長]
小林 将来 [米原警察署交通課 課長]	三馬 有子 [公募委員]
田邊 圭一 [長浜警察署交通課 課長] (欠席)	森 和彦 [湖北地域消防本部警防課 課長]
坂元 和彦 [交通課 企画規制係長] (代理出席)	安田智枝美 [米原交通安全協会女性部 部長]
轟 慎一 [滋賀県立大学 准教授] (座長)	横山 義人 [長浜市都市建設部 部長]
丹羽 崇 [公募委員]	吉田 忠充 [米原市まち整備部 部長]

滋賀県道路整備アクションプログラム 地域別アクションプログラム 長浜地域ワーキング
～長浜地域ワーキングニュース～ 2022年10月発行

【編集・発行】滋賀県長浜土木事務所道路計画課

〒526-0033 長浜市平方町1152-2 TEL:0749-65-6641 FAX:0749-62-5065

E-mail: ha35100@pref.shiga.lg.jp URL: <https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kendoseibi/douro/326756.html>

議事録URL
はこちら

